



誘拐防止策は間違っているー 2

前号では、母親以外の人とどこかへ行く時は、「〇〇さんと◇◇へ行って来る」と報告する習慣を付けさせ、報告をしたら、「偉いね～、行ってらっしゃい」と褒めるようにすることを提案しました。

もうひとつの提案は、とっさの場合の「判断力」と「すばしっこい子」に育てることです。本来子どもは、すばしっこく大人は捕まえられないものですが、最近の子どもはカラダを使う遊びが少なく敏捷な動きができません。簡単に(悪い大人に)捕まり連れ去られてしまうわけです。

そこで、子どもの体力をつけながら判断力や敏捷性を養う最も有効な運動は、鬼ごっこです。このゲームは、状況が頻繁に変わり判断力や敏捷性、さらに、動きながら考える能力も付く優れものです。まっくに来ると「ゲームが多いなあ？」と感じている方もいらっしゃると思いますが、そういう理由からです。

「捕まえっこのようなゲーム」は、家庭でも簡単に出来ます。例えば、イスやテーブルを挟んで捕まえっこをしたり、屋外でドッジボールもいいでしょう。ただし、この時、お子さんに「鈍い」とか「もっと素早く動けないの」などと叱らず楽しく行うことです。もちろん、これだけでは「誘拐防止」にはなりません。よその子も我が子も同じ目線でみんなで見守る心がけが大切です。

まっく代表 向井忠義